

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

特別編

「シェール革命」が巻き起こす！
「エネルギー・インフラ・スーパーサイクル」①

米国で始まったシェール革命により、世界のエネルギーの勢力図はいま大きく変わろうとしています。IEA（国際エネルギー機関）によれば、数年後には米国がサウジアラビアを抜いて世界最大の産油国になる見通しです。

「シェール」とは地下数千メートルに存在する頁岩（けつがん）のことで、この層に埋蔵されている天然ガスを「シェールガス」、原油を「シェールオイル」と言います。シェール層の開発には非常に高度な技術が必要なことから、これまで採掘が困難とされてきました。ところが近年の技術革新により低コストによる採掘が可能になり、世界のエネルギー事情は大きく転換。これが「シェール革命」です。

国土に多くのシェール層が含まれる米国では、シェール資源の活用に関心から期待が集まっていましたが、2000年代半ば以降に商用化が進み、生産量が急増しています。

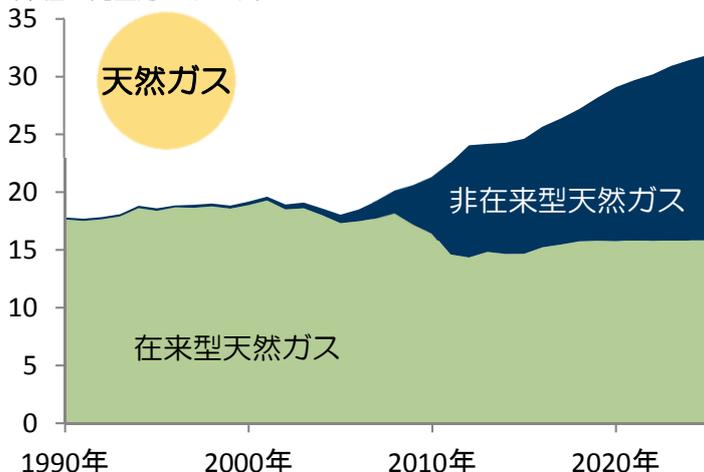
EIA（米国エネルギー情報局）によると、非在来型エネルギー*の増加により、2025年の天然ガス生産量は、2010年比で約49%、また原油の生産量も同約64%増えると予測されています。シェール革命により、米国は世界最大のエネルギー輸入国から、エネルギー輸出国に変貌しつつあるのです。

*非在来型エネルギーとは？

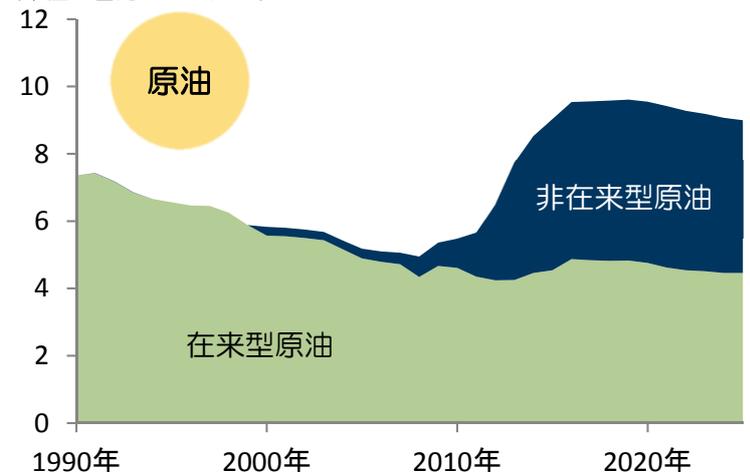
従来のガス田や油田以外から採掘されたエネルギー資源を、「非在来型エネルギー」と言います。シェール資源はこの非在来型エネルギーに含まれます。

米国のエネルギー資源の生産量予測

(単位：兆立方フィート)



(単位：百万バレル/日)



(出所) EIA (米国エネルギー情報局)、在来型・非在来型の区分はGSAMIによる。

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。© 2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <TK14009003>



Asset Management

1分で読みとくアメリカ

読得
目ミトク

特別編

「シェール革命」が巻き起こす！
「エネルギー・インフラ・スーパーサイクル」②

シェール革命が米国の様々な産業に好影響を及ぼし始めている中で、特に注目を集めているのが、パイプラインや貯蔵施設といったエネルギー・インフラの関連事業です。

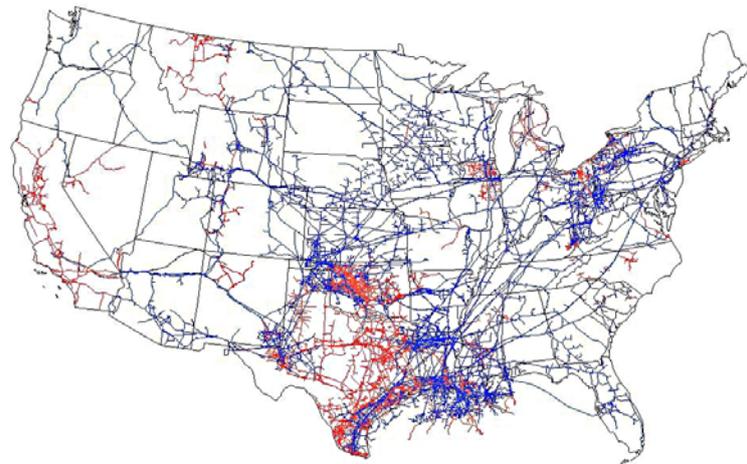
天然ガスや原油を輸送するパイプラインは、主に大陸中央部に位置する生産地から、加工・消費地である湾岸部まで、全米中に張り巡らされています。その長さは合計で約80万kmに達し、なんと地球20周分に相当します。これらを管理・運営する会社の収益源は、通過するエネルギーの量と距離に応じた使用料のため、エネルギーの生産量や輸送量の増加によって、安定的かつ持続的な収益拡大が期待されています。

さらに、エネルギーの生産量の増加に伴い、パイプラインなどエネルギー・インフラに対する大規模な設備投資は、今後も続々と予定されています。調査会社IHSグローバルによると、2014年からの12年間で累計約8,900億米ドル（約93.7兆円）のインフラ投資が実施される見通しです。

エネルギー・インフラに対する需要が中長期的な拡大期に入ったことで、10-35年に及ぶ価格上昇トレンドを表現するコモディティ・スーパーサイクルに準え、「エネルギー・インフラ・スーパーサイクル」といった表現も聞かれるようになりました。

シェール革命によって、エネルギー・インフラ企業の成長が今後も大いに期待されています。

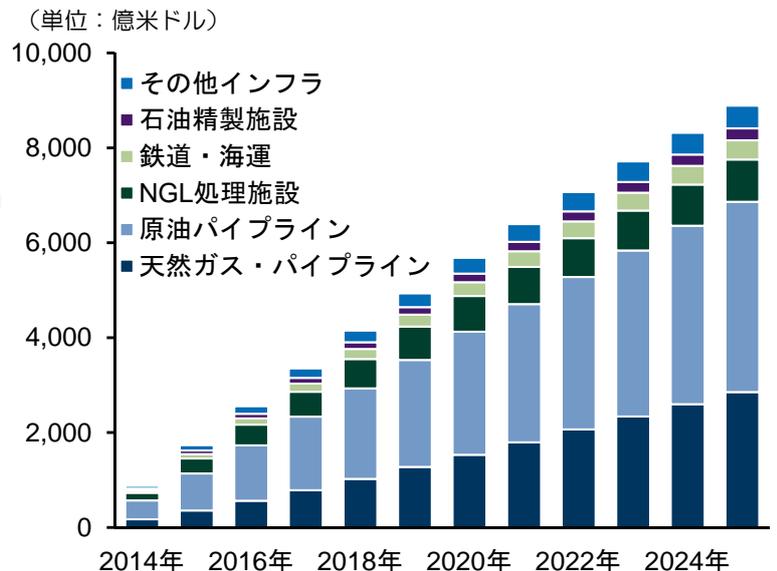
米国の天然ガスパイプライン網



— (青線) 州間パイプライン
— (赤線) 州内パイプライン

(出所) E I A (米国エネルギー情報局) 2009年時点

エネルギー・インフラ設備投資額予測



(出所) IHS 金額は累積ベース (期間) 2014~2025年
*2013年12月時点の予測値

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。
© 2014 Goldman Sachs. All rights reserved. <TK14009003>



Asset Management